



HP : <https://occac.jp>

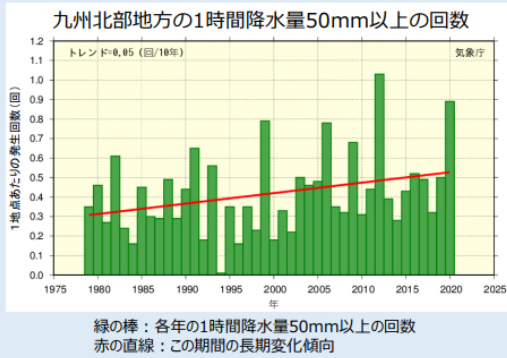
事務局 / 大分県脱炭素社会推進室  
TEL : 097-506-3033 E-mail : a13080@pref.oita.lg.jp

研究部門 / 大分県衛生環境研究センター  
TEL : 097-554-8982 E-mail : a13002@pref.oita.lg.jp



## 観測事実

大分県を含む九州北部地方の短時間強雨の回数は、過去40年間で約1.5倍に増加しています。



出典: 大分県の気候変動 (R4.3 大分地方気象台・福岡管区気象台)



## 21世紀末 将来予測

気候変動に対して、このまま有効な対策をとらなかった場合、大分県を含む九州北部地方の短時間強雨回数は、約1.9倍<sup>※</sup>になることが予想されています。

※20世紀末(1980~1999年)と21世紀末(2076~2095年)の比較

# 気候変動により 「大雨」の頻度が増加!!?

近年、大分県でも頻繁に発生しているゲリラ豪雨(局地的大雨)。実は、気温の上昇により、大気中に含むことのできる水蒸気の量が増えることから、大雨も増加していることが報告されています。反対に雨の降らない日も増加しており、雨の降り方が極端になっていることから、台風の大型化など、災害リスクの高まりが懸念されています。

# 台風

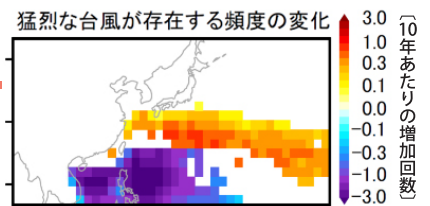
## 21世紀末 将来予測

### 台風の強度



※1979~2010年と21世紀末の比較

日本付近の台風強度は強まると予測されています。  
(赤いエリアで、最大風速59m/s以上の猛烈な台風が増加)



出典: (一財)気象業務支援センター / 気象庁気象研究所公表データを OCCAC が一部加工

## 「災害対策(気候変動適応)」できていますか?


大雨の増加・台風の大型化・洪水の発生など、気候変動の影響が考えられる災害に対しては、あらかじめの備えが重要です。被害の回避・軽減対策(適応策)に取り組んでいく必要があります。“今”できる防災に、さっそく取りかかりましょう!

1 天気予報や気象状況をこまめにチェック

2 ハザードマップや防災マップで近所の避難場所や危険個所をチェック

3 大雨や台風に合わせて、家の周りをチェック  
(吹き飛ばされそうなものや流されそうなものはないか、雨戸や瓦は痛んでないか、など)

4 断水や停電、避難時に備えて、必要なものをすぐに持ち出せるように準備



5 「おおいたマイ・タイムライン」の活用



6 「おおいた防災アプリ」の活用



「自分自身や家族の避難行動計画」を作成しましょう!